



## ■環境への取り組み

---

東郷製作所では、全社一丸となって、環境への取り組みを行っています。

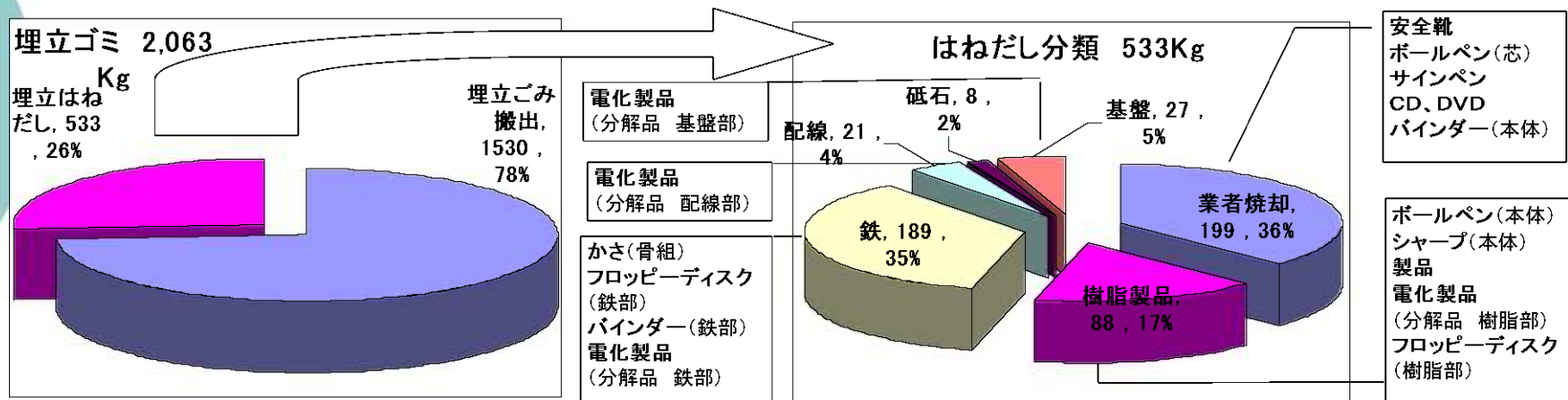
取り組みの中では、省エネ部会、ゼロエミ部会、公害防止部会を中心に活動を行っています。

## ■ 廃棄物の分別 リサイクル化

収集分別の徹底  
から、マテリアルリ  
サイクル化まで、  
廃棄物の細分化  
に努めております。



# ・埋立廃棄物の分別調査



分別状況



分別前

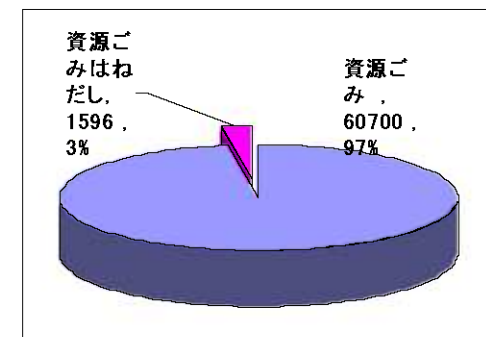


分別風景



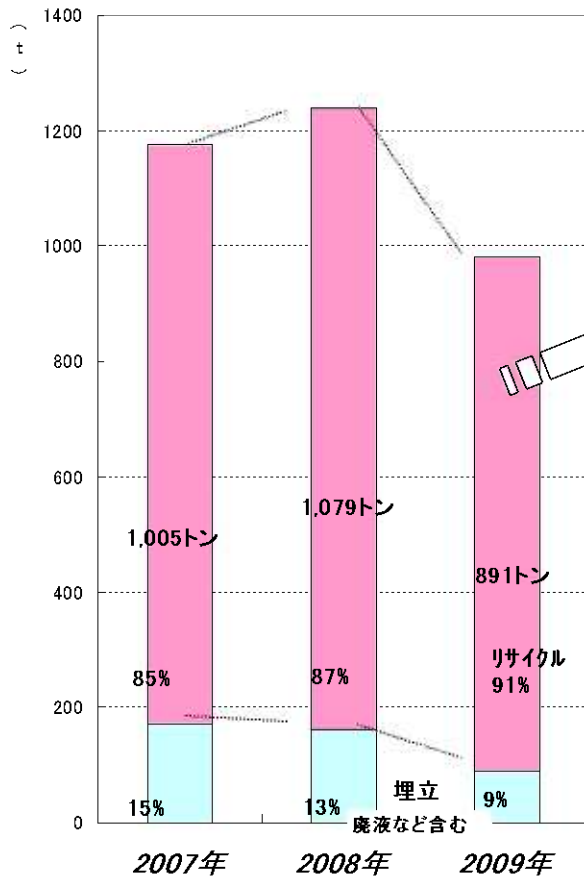
分別後

資源ごみ分別状況

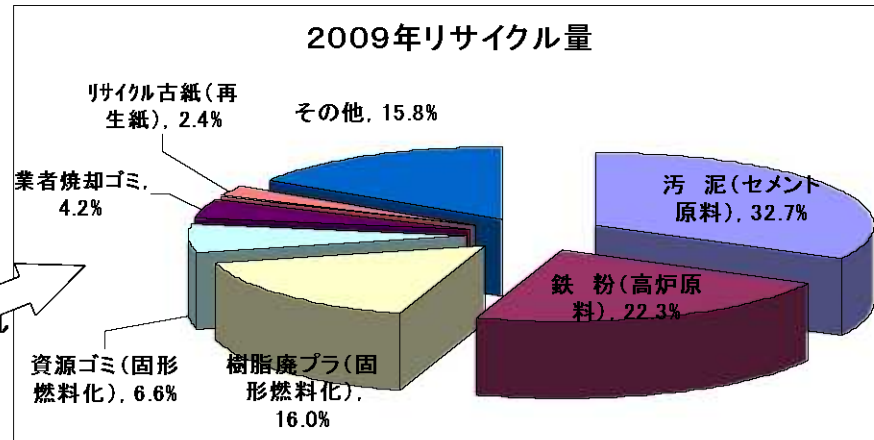


# ・過去3年間の廃棄物分類

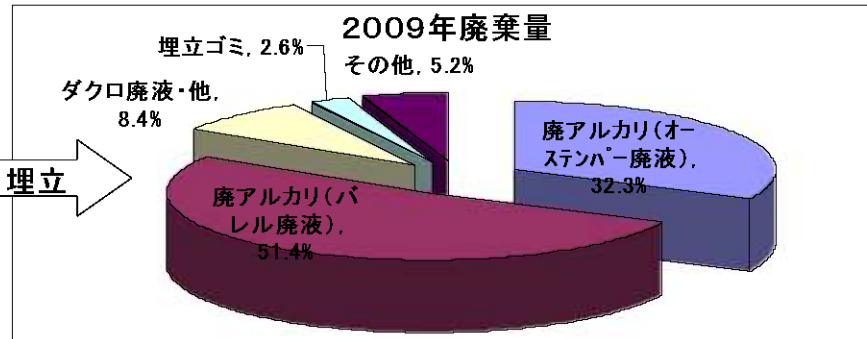
過去3年間のゴミの量とリサイクル率



## ◆リサイクルされる廃棄物 ⇒ 891トン/年



## ◆埋立される廃棄物 ⇒ 91トン/年



## ■省エネ活動

省エネ照明や工程のムダ・ロスの徹底調査を行い、限りある資源を大切に使います。



表示による啓蒙



昼休み消灯風景

## ・休憩時間の消灯効果



ご存じですか？  
蛍光灯の電力料金



蛍光灯を、1本間引きすると

$$0.1\text{KW} \times 8\text{時間} \times 244\text{日} \times 13\text{円} \times 0.7 = 1,776\text{円}$$

1本      1日      1年      KWH料金      効率      削減できる      年間

蛍光灯を、1時間消灯すると

$$0.1\text{KW} \times 1\text{時間} \times 13\text{円} \times 0.7 = 0.9\text{円}$$

1本の効果はわずかでも...

昼休みの  
消灯に努め  
ましょう！！

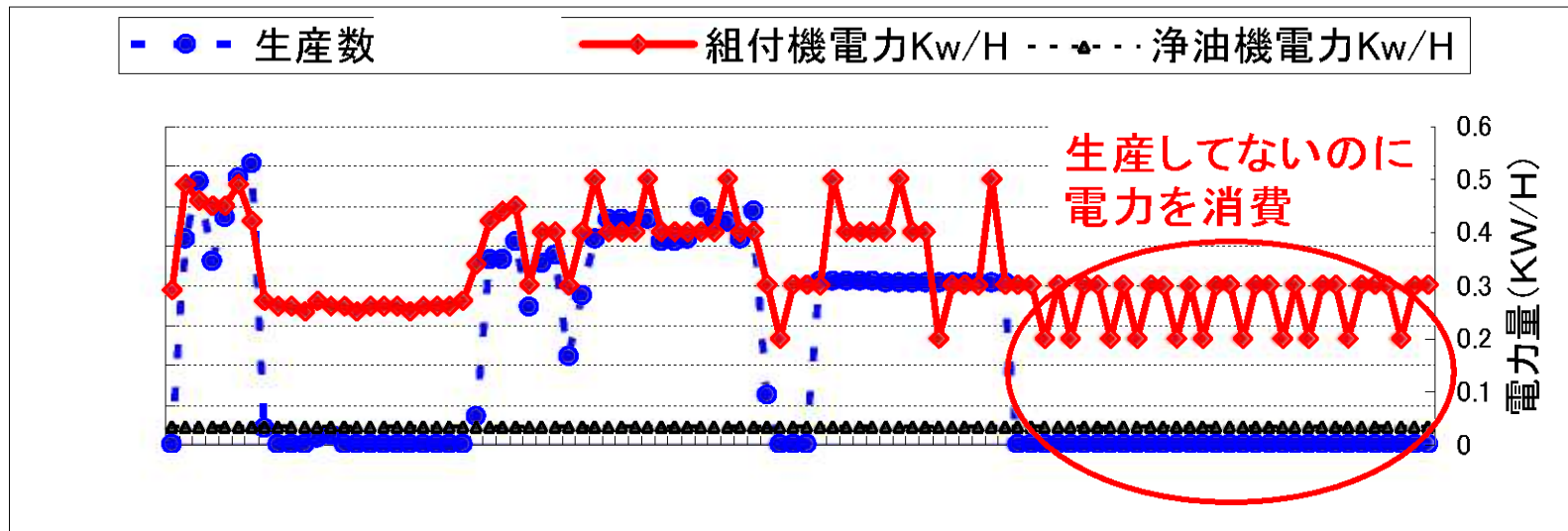
全社で蛍光灯を、1時間消灯すると

$$0.1\text{KW} \times 1\text{時間} \times 7046\text{本} \times 13\text{円} \times 0.7 = 6,341\text{円}$$

(全社の蛍光灯本数)      削減できる

## ・工程内の省エネ活動

### ・ライン毎のムダ・ロスの徹底調査と撲滅 (省エネモデルライン活動)



## ■ 排水処理

---

本社工場では、排水処場を  
設置し、工場排水を  
適切に処理しています。

水質、水量管理を行い、  
資源、環境への配慮、  
法的な側面から監視を  
行っております。



## ■環境負荷物質規制への対応

---

(社)日本自動車工業会が制定している環境負荷物質規制を順守。

そのほか、REACH(欧州新化学物質規制)、欧州ELV指令SOC規制にも対応しております。



## ■その他の取り組み

- ・年2回(5月、11月)、内部監査を実施し、PDCAが回っているか、定期的に社内で確認を行っています。
- ・全社員が、エコカードを携帯し、個人個人で環境への誓いを実施しています。
- ・年2回(5月、11月)にクリーンデーを設け、工場近隣の美化活動を行っています。

**エコカード** このカードは東郷の社員の必携  
必須資料として作成しました

**社定** 『昨日よりも「よい品」で社会に奉仕する』

**環境基本方針抜粋**

①当社が行う事業活動が環境に与える影響を捉え、環境負荷低減並びに有益な環境側面継続的に改善を図る。  
②環境関連の法律、協定、同意するその他の事項を順守し、可能な範囲で汚染の予防を図る。  
③内部監査を実施し、システムの維持向上を図る。  
④当社で活動するすべての人に環境教育と訓練を行い、環境意識と環境方針の周知徹底を図る。  
⑤この環境方針は社外にも公開し、一般の人

**私の環境への誓い** 水と緑の惑星、地球を守ろう

**私の環境宣言(チャレンジ内容)** 年 月 日

環境上のメリット／省エネ・廃棄物・公害防止・投入資源・その

宣言者:

株式会社 東郷製作所 ISO 14001環境管理委員



# ■環境目的・目標

環境目的・目標一覧 / 実績評価表 (2009年～2011年)

2010/1/18

注:実績値は青字は達成、赤字は目標の未達成を示す 株式会社東郷製作所

環境方針	目的・目標	担当・責任者	年度目標					
			2009年	評価	2010年	評価	2011年	評価
環境マネジメントシステムの維持改善	1. 環境マネジメントシステムの継続的改善	・環境管理責任者	維持活動	○	維持活動	○	維持活動	
	2. 内部環境監査の実施(2回/年)と フォローアップ監査の充実	・環境監査責任者	5月、11月	○	5月、11月	○	5月、11月	
	3. 審査機関による定期審査の受審	・ISO推進事務局	更新審査 7月	○	サーベイランス 7月		サーベイランス 7月	
環境負荷の低減① 省エネルギー活動の推進(電力等)	<目的> 1. 地球環境の保護 .....CO <sub>2</sub> 削減による地球温暖化防止  2. 石油資源の確保 .....電気・ガス等のエネルギー消費量の低減  <目標> 総エネルギーを2011年までに2005年比で6%以上低減 (原油換算・原単位)	・省エネルギー部会	<製品1万個当りの原油使用量> 本社:51.89L/1万個  第5:72.64L/1万個  全社:58.51L/1万個 (2005年比4%低減)	×	本社:51.35L/1万個  第5:71.89L/1万個  全社:57.90L/1万個 (2005年比5%低減)	×	本社:50.81L/1万個  第5:71.13L/1万個  全社:57.29L/1万個 (2005年比6%低減)	
環境負荷の低減② 廃棄物低減・資源の有効活動	1. 分別収集の運用と実施 (分別率の向上:2013年 100%目標)  2. 資源化物の拡大 (資源化率の向上:2013年 90%目標)  3. 一般廃棄物削減 (2013年 08年比10%低減)  4. 5R活動の展開 ・活動の定着化、PR・啓蒙活動	・ゼロエミッション部会	分別率97%以上  資源化率85%以上  2008年比 2%低減  定着化	○ ○ ○ ○	分別率98%以上  資源化率87%以上 資源化率90%以上  2008年比 4%低減  定着化	○ ○ ○ ○	分別率98%以上  資源化率88%以上 資源化率90%以上  2008年比 6%低減  定着化	
法規制を遵守し環境汚染を防止	10年度より 取組内容変更  1. 最終放流水の水質向上  2. 総排水量の低減活動  3. ライフサイクルアセスメント 定量的な評価実施  4. 環境負荷化学物質の削減	・公害防止部会	T-N値 15mg/l以下 COD値 25mg/l以下 BOD値 25mg/l以下 ばいじん 0.2g/m <sup>3</sup> N 粉じん 15個以下  苦情ゼロ  遵守 (適宜対応)	○ ○ ○ ○ ○ ○	T-N値 15mg/l以下 COD値 25mg/l以下 BOD値 25mg/l以下  ソルト洗浄排水量の適正化 塗装・パーカー排水量の適正化 熱処理間接冷却水水量の適正  定量的な評価管理の確立  遵守 (適宜対応)	○ ○ ○ ○ ○ ○	T-N値 15mg/l以下 COD値 25mg/l以下 BOD値 25mg/l以下 ばいじん 0.2g/m <sup>3</sup> N 粉じん 15個以下  苦情ゼロ  遵守 (適宜対応)	
環境教育訓練の実施と啓蒙活動	1. 内部監査員の養成・能力向上  2. 従業員に必要な環境教育と啓蒙 ・全社員の環境再教育の実施(2012年までに1回は行う)  3. 環境実績報告会、環境展示会の開催(2012年予定)  4. 定期訓練の実施	・安全衛生環境室  ・総務部/安全衛生環境室 ・全部門/部署  ・事務局、3部会  ・全部門/部署	監査を通じたJITの実施  新入社員、中途入社教育 適宣  —  定期訓練の実施	○ ○ ○ ○	全社教育プログラムへの取込み  新入社員、中途入社教育 適宣  —  定期訓練の実施	○ ○ ○ ○	維持  新入社員、中途入社教育 適宣  地域への情報公開方法検討  定期訓練の実施	
総合評価			△		△ (10月現)			
環境管理責任者承認			相羽 由光		相羽 博文			
			No.	改訂日	改訂理由		改訂者	改訂承認
			2	2007.05.29	部会目標見直しによる改訂		松林	環責/相羽(由)
			3	2008.02.14	ゼロエミ部会:廃アルカリのリサイクル技術遅れにより、資源化率目標を07年度に据え置き		松林	環責/相羽(由)
			4	2008.12.20	09～11年/3ヶ年計画策定のため全面見直し改訂		松林	環責/相羽(由)
			5	2010.1.18	廃棄物低減・資源の有効活動 目標見直し		伊藤	環責/相羽(博)